

南ア月報
(2016年8月)

在南アフリカ日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 統一地方選挙結果
- 主要都市でのDA市長誕生
- ANC内の争い

【外交】

- ズマ大統領のTICAD出席
- ズマ大統領のSADCサミット出席（於：スワジランド）

【経済】

- インフレ
- 貿易収支
- 鉱業・製造業生産高
- 自動車販売台数
- 景況感指数
- 小売り
- 格付け
- 再生可能エネルギー
- 自動車
- 中国投資
- TICAD VI

1 内政

●統一地方選挙結果

独立選挙委員会（IEC）は、3日に行われた統一地方選挙結果を発表したところ、概要以下の通り。

1 南ア全土に於ける各政党獲得議席数及び得票率（2000年、2006年、2011年を含む）

政党名	議席数	得票率	2011	2006	2000
(1) アフリカ民族会議（ANC）	5,163	53.91%	(61.95%)	64.82%	59.39%
(2) 民主連合（DA）	1,776	26.89%	(23.94%)	16.24%	22.12%
(3) 経済的開放の闘士（EFF）	761	8.2%	(2013年結党)		
(4) インカタ自由党（IFP）	432	4.25%	(3.57%)	7.53%	9.14%
(5) 自由戦線（VF plus）	67	0.77%	(0.45%)	0.94%	0.09%

2 主要大都市行政区 (Metro Council)

(1) ツワネ (プレトリア)

1 位 D A 43.11% (93 議席) 2 位 A N C 41.22% (89 議席) 3 位 E F F 11.7% (25 議席)

(2) ヨハネスブルグ

1 位 A N C 44.55% (121 議席) 2 位 D A 38.37% (104 議席) 3 位 E F F 11.09% (30 議席)

(3) ケープタウン

1 位 D A 66.61% (154 議席) 2 位 A N C 24.36% (57 議席) 3 位 E F F 3.17% (7 議席)

(4) ネルソン・マンデラ・ベイ (ポート・エリザベス)

1 位 D A 46.79% (57 議席) 2 位 A N C 40.92% (50 議席) 3 位 E F F 5.12% (6 議席)

(5) エテクニ (ダーバン)

1 位 A N C 56.01% (126 議席) 2 位 D A 26.66% (61 議席) 3 位 I F P 4.2% (10 議席)

●主要都市での D A 市長誕生

3 日に実施された統一地方選挙の結果、主要な 4 大都市行政区 (メトロ・カウンシル) で D A 市長が誕生した。なお、南アには 8 つのメトロがあり、D A は従来確保してきたケープタウンの他、ツワネ (プレトリア)、ヨハネスブルグ及びネルソン・マンデラ・ベイ (ポートエリザベス) で市長を誕生させ、残る 4 メトロ (エテクニ (ダーバン)、マンガウン (ブルームフォンテン)、バッファロー (イースト・ロンドン)、エクルレニ) は A N C が引き続き市長を確保した。

A N C 青年同盟はズマ派であるが、統一地方選挙敗北の責任として、マンタシェ事務局長の辞任及び早期の党大会実施を求めた。

●A N C 内の争い

統一地方選挙後、ゴードン財務大臣への警察の捜査は、A N C と連立を組んでいる共産党を巻き込み与党内派閥争いの先鋭化といった様相を呈している。

1 ゴードン財務大臣と南ア警察の対立

ゴードン大臣と南ア警察の対立は、大統領府と財務省の代理戦争といった様相を呈している。同大臣は、南アの格付け下落を食い止める中心人物と見られており、国を盗人から守るために死ぬ覚悟があるとの衝撃的な誓いを行った。

26 日、中国広東省省長がラマポーザ副大統領を表敬訪問し、南ア政治・経済の不安定さに対する中国投資家の懸念を表明した。

2 南ア共産党 (S A C P)

A N C 青年同盟総裁が主張している、早期の次期 A N C 総裁を選出する党大会の実施について、ヌジマンデ高等教育大臣 (S A C P 事務局長) は「三者同盟内の不統一を助長するので、A N C は熟慮すべきだ。」と述べた。

2 外交

●ズマ大統領の T I C A D 出席

27 日、大統領府は、T I C A D VI 全体会合 1 におけるズマ大統領の発言をプレスリリースで発表したところ、ポイントは以下の通り。

1 今のアフリカは T I C A D が発足した 1993 年のアフリカと全く異なり、世界で最も成長する経済の一つ。我々は持続可能な成長及び格差・貧困・失業への取組にコミットしている。

2 製造業及び情報技術における官民パートナーシップはアフリカの成長にとって不可欠。

さらに、気候変動、ガバナンス、産業化などのグローバルな課題にあたっても、アフリカ自身の地域統合や域内貿易、そして問題解決の能力といった点が重要。

3 大きな変革期に、T I C A Dが機敏に対応し、かつ互恵的となる必要がある。

4 全てのT I C A D参加国に対し、決まったことを効果的に実施するとともに、アフリカ自身のアジェンダを支える共通の目標に向け協力を強化するよう呼びかけたい。

●ズマ大統領のSADCサミット出席（於：スワジランド）

8月31日付大統領府声明「ズマ大統領は、スワジランドへの実務訪問を締めくくる」のポイントは以下の通り。

1 サミットでは、レソト王国及びコンゴ民主共和国の問題を含む政治や安全保障に関する種々の中間報告が提出された。ズマ大統領は「我々は、影響を受けた地域での平和、統合及び安定を確保するために報告で提案された勧告を早急に実施することにコミットする」と述べた。

2 SADCサミットは、次期大統領選挙の準備に向け一致して作業するために、様々なステークホルダーをまとめる国民対話プロセスが開始されたコンゴ民主共和国におけるAUのイニシアティブを歓迎する。

3 経済

＜経済指標＞

●インフレ

7月の消費者物価指数（C P I）は前年比ベースで6%と6月の6.3%より下落した。南ア中央銀行は、来月の金融政策委員会にて金利を据え置くとの見方が主な要因。南ア統計局によると、C P Iは今年最低レベルで、インフレターゲット内に収まった。食料価格は前年比11.5%まで高騰。コアインフレは前年比5.6%～5.7%。南ア中央銀行総裁は、食料価格の高騰が賃上げ要求に拍車をかけていると述べた。

●貿易収支

2016年6月までの輸出は輸入を上回り、貿易黒字を維持。南ア歳入庁（SARS）の統計によると、6月までに輸出は11%、輸入は4%増加。エノコミストは、輸入減少ではなく、輸出増加傾向のため貿易黒字を維持していると述べた。最近のデータは部分的にはランド安も反映している。6月は農産品、機械、電子機器の輸出が増加。鉱産品、鉱物資源、自動車や輸送機部品の輸出は下落。

●鉱業・製造業生産高

6月の鉱業・製造業は前年に比べて予想よりも改善した。南ア統計局によると、鉱業生産高は前年比2.5%と下落したが、過去2ヶ月よりも下落スピードは緩やかになった。製造業生産高は前年比4.5%増加し、2015年7月以降最高水準である。

●自動車販売台数

7月の自動車販売台数は、過去7年間で最低の販売台数を記録。新車販売台数は、44,883台と前年比17%下落。乗用車販売は、レンタカー業界の強い需要にもかかわらず、29,007台と前年比20.6%の下落。

●景況感指数

南ア商工会議所（SACCI）は、7月の景況感は、6月の95.1から96にやや上昇した

と述べた。

●小売り

南ア統計局は、6月の小売り売上高は、市場の予想（3.8%）を下回り、前年比1.7%増加にとどまったと述べた。医薬品・化粧品・トイレタリー等日用品セクターが9.2%と最も伸びた。一方、繊維、衣類、履物、革製品等の一般ディーラーや小売り販売者の売上は減少傾向。

<出来事>

●格付け

大手格付け会社ムーディーズは、フィッチのコメントに付け加えるかたちで、政策の不確実性と支出増加プレッシャーの短期的なリスクを警告した。一方で、統一地方選挙結果は、中期的な改革を刺激する可能性があるとして述べた。フィッチは、南ア政府の大衆主義的政策や高支出体質に対して警告していた。

●再生可能エネルギー

ヨハネスブルク証券取引所（JSE）のチーフ・エグゼクティブは、南アの経済見通しについてポジティブであり、特に再生可能エネルギーIPPプログラムは投資機会があると述べた。南ア財務省は、2011年に開始したIPPプログラムは、再生可能エネルギープロジェクト（主に風力と太陽光）へ1940億ランド以上の投資があり、その内、27.5%がFDIであると述べた。

●自動車

日産南アフリカのセールス・オペレーション部門の地域代表は、南アは依然として自動車メーカーにとってサブサハラ・アフリカ（SSA）ではベストな選択であると述べた。SSAの他国で展開している自動車メーカーのほとんどは、生産計画の大幅削減か組立て工場の操業休止を余儀なくされている。南アの国内新車需要は減少傾向である一方、輸出需要増加のため、2016年の生産目標を達成できる可能性はあると述べた。

●中国投資

中国の大手自動車メーカーBeijing Automobile International Corp（北京汽車集団）は、東ケープ州ポート・エリザベス市のコエガ工業団地に年間10万台規模の完成車工場を新設すると発表した。投資額は110億ランド。本投資は、昨年12月に開催されたFOCACでの1000億ランド規模の26の二国間合意の結果の一つである。デイビス南ア貿易産業大臣は、過去40年間で、アフリカで最大の自動車投資であると述べた。

●TICAD VI

安倍総理は、8月末に開催されたTICAD VIにおいて、2016年から2018年の3年間で官民総額300億ドル規模のアフリカへのコミットメントを行う旨を発表した。インフラ開発へは約100億ドルを、一部アフリカ開発銀行との協力で実行予定。JETROによると、2015年の日本からアフリカへの総直接投資額は12.4億ドルと2014年の15億ドルから減少。

4 広報・文化

●プレトリア大学と日本の大学とのM○U締結

プレトリア大学において、22日に同大と東京外国語大学との間のM○U締結に係る文書引き渡し式が行われた（9月以降、両大学間でM○Uが締結される見込み）。また、29日にプレトリア大学において、プレトリア大学学長及び北海道大学総長いずれも出席の下、両大学のM○U締結式が行われた。今後、プレトリア大学と日本の両大学間における学術交流、学生交流等が進むことが期待される。

5 警備

●統一地方選挙を巡る情勢

統一地方選挙を巡っては、国内各地において高失業率や行政サービスへの不満等から抗議行動が盛んに行われ、一部暴動や略奪等へと発展したケースが散見されたところ、選挙当日の3日は、リンポポ州ヴァニ（Vuwani）地区において、独立選挙委員会（IEC）による特別投票所の設置に際し、これを妨害したとして15人が逮捕されたほか、東ケープ州イースト・ロンドン所在のGcobaniコミュニティ・ホールにおいては、地元住民（選挙人）が、ANC党Mbulelo Vulaの擁立を要求し、タイヤ放火／投票所の焼き討ち／投石等の暴動へ発展。治安部隊がゴム弾、催流ガスを使用してこれを鎮圧した。このほか、ソエト（Soweto）地区では、投票前に投票用紙の盗難被害が報告されたが、当日（3日）は、警察及び軍による警戒の下、特異事案の発生もなく平穏なままに行われた。ヴァニ（Vuwani）地区は、南ア国家警察においてホットスポット（650カ所）の一つに指定されるなど、警戒が強化されていた地区であった。

（了）